

た か す

北九州市立高須小学校

学校だより 7月号

令和5年7月4日(火)

校長 成重純一

落ち着いて過ごした修学旅行

先月の14日(水)～15日(木)に、6年生を引率して修学旅行に行ってきました。一日目は、久留米市の青少年科学館と大刀洗平和記念館で見学をして、城島高原ホテルに宿泊。二日目は、城島高原パークで楽しんだ後、大分マリーンパレス水族館「うみたまご」に寄って帰校しました。6年生は、学校代表の自覚をもち、立派な態度で活動しました。

梅雨入り後の日程でしたが、雨が降ったのはホテルにいた時間だけで、屋外の活動では雨は降りませんでした。この時期の梅雨前線は南下していて、活発な活動が少ないためだと思われま

す。おかげで、見学地はどこも観光客が少なく、ゆったりと回れました。また、ホテルでも、他の学校と同宿にならないので、食事や入浴の時間などを調整する必要もありませんでした。

6月実施のメリットを生かし、落ち着いて過ごすことができた二日間でした。



↑ 「うみたまご」のショー

認知症サポーター養成講座

先月の19日(月)に、5年生が「認知症サポーター養成講座」に参加しました。これは、北九州市保健福祉局認知症支援・介護予防センターが主催する講座で、小学生が、認知症の方のように接していけばよいかを学ぶ内容でした。

高須地域は、社会福祉協議会の活動が活発で、市内でも認知症予防やサポートに関する取組が盛んな地域だそうです。今回、すべての方が安心して暮らせる地域にするために、基礎的な知識をもつ人材を育てるお手伝いをしたいと思い、この講座に参加することにしました。

講座では、寸劇を見て「道に迷っている人、様子が違う人を見たら、一人で声をかけず、近くの人と声をかけよう。」「その場で助けられなくてもよい。近くの大人の人に、その人の様子を伝えられたらよい。」などのポイントを5年生が学んでいきました。

高須地域の一員として、子どもたちがたくましく、やさしく成長することを願います。



↑ スタッフによる寸劇

校地内乗り入れによる送迎の原則禁止 ご協力ありがとうございます

急病や歩行困難等を除き、お子さんの送迎で校地内に車を乗り入れることをお断りしていることをtotoruでお願いしました。一部そのような光景が見えて気になっていましたが、お知らせの後、ほぼなくなりました。ご協力いただき、ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。